

安城市の

# 財政公表



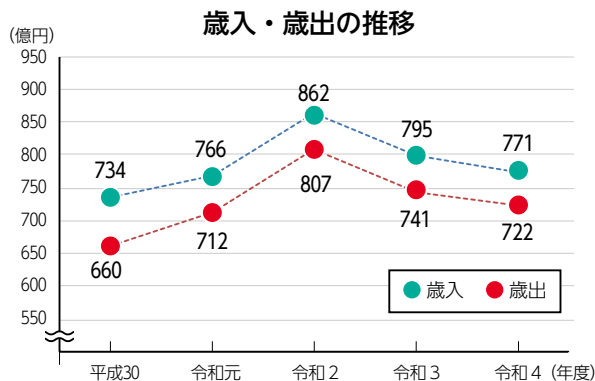
安城市のお財布の中身を見ていこう！

令和4年度の決算の概要や市の財政状況をお知らせします。

## 令和4年度決算

### 令和2年度及び令和3年度に次ぐ 過去3番目の規模に

世界的なエネルギー・食糧価格の急激な高騰等、取り巻く環境が大きく変化する中、9度にわたる補正予算を編成し、市民生活と地域経済の安定化に向けた様々な支援策を講じてきました。こうした状況下においても、当初予定していた市営井杭山住宅の建替工事や総合福祉センターの大規模改修工事等の大型事業を計画どおり実施する等、直面する行政課題を先送りすることなく、着実に推進しました。



## 一般会計

### 収支は49億円の黒字になりました

一般会計とは、福祉や教育、道路整備等、行政の基本的な事業を行うための会計のことです。令和4年度は、歳入771億円余(前年度比3.0%減)、歳出722億円余(同2.5%減)となり、収支は49億円余の黒字となりました。

### 歳入総額

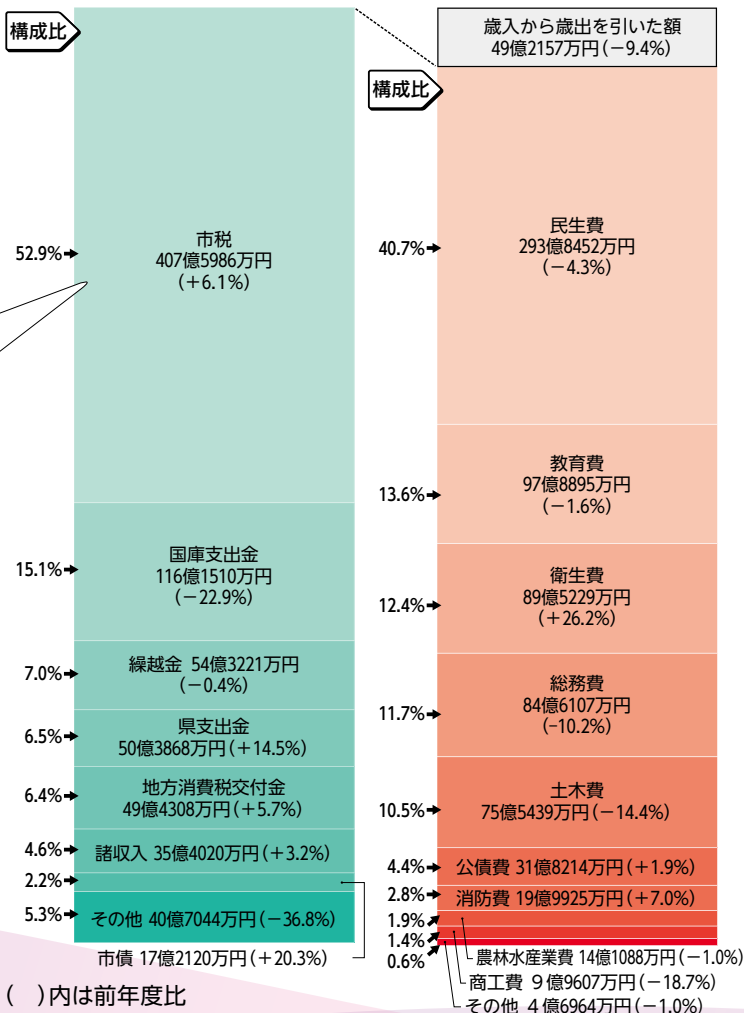
**771億2077万円**

前年度比23億9734万円減 (-3.0%)

### 歳出総額

**721億9920万円**

前年度比18億8670万円減 (-2.5%)










### 市税の一部の使い道

	事業名称	事業費	税からの 充当額
都市計画税	公園整備事業	5255万円	2870万円
	下水道事業	1632万円	600万円
	市街地開発事業	20億4271万円	4億3670万円
	公債費	23億9870万円	21億3541万円
	計	45億1028万円	26億681万円
入湯税	観光振興事業	9918万円	814万円

●市の支出を市民一人当たり換算すると

※令和5年3月31日現在の人口18万8645人で算出。

民生費	教育費	衛生費	総務費	土木費	その他	支出合計
医療・福祉・子育て支援等	学校・社会教育、スポーツ振興等	保健衛生、ごみ処理等	基金への積立、庁舎の管理等	道路や公園等の整備		
						
15万5766円	5万1891円	4万7456円	4万4852円	4万45円	4万2715円	38万2725円

市民1人当たりの市の貯金残高 **15万425円** / 市民1人当たりの市の借金残高 **8万7059円**

令和4年度に取り組んだ主な事業



**特殊詐欺対策装置購入費補助金**  
 特殊詐欺対策装置の購入に補助金を交付することで、深刻化する高齢者の特殊詐欺被害の抑止に努めました。(事業費327万円)



**総合福祉センター改修工事**  
 開館後、約30年が経過し、施設の老朽化が進んでいたことから、今後も安全安心な利用ができるよう、令和3年度から4年度において、改修工事等を実施しました。(事業費7億9001万円)

**子育て世帯臨時特別給付金**  
 物価高騰の影響を受ける子育て世帯の生活を支援するため、高校生までの子どもがいる世帯に対し所得制限なく、児童一人あたり2万円の臨時特別給付金を支給しました。(事業費6億5907万円)


**児童クラブ整備**  
 入会希望児童の受け入れを拡大するため、安城東部小学校敷地と桜井小学校隣接地に児童クラブ専用棟を新設しました。(事業費2億2485万円)




**私立保育園等施設整備補助金**  
 保育需要の高い東山中学校区及び桜井中学校区において、私立保育園等の園舎建設工事に対し、運営事業者への補助を行いました。(事業費3億3575万円)



**新型コロナウイルスワクチン接種事業**  
 オミクロン株対応2価ワクチン接種を開始する等、国の動向に合わせて、愛知県や医師会と協力し、個別医療機関での接種や集団接種等の接種体制を構築しました。(事業費6億6466万円)



**国際・全国大会推進活動事業**  
 本市出身のプロレスラー(オカダ・カズチカ選手・中野たむ選手)を起用し、プロレスイベントを通じたシティプロモーションを実施しました。(事業費879万円)



**水道基本料金免除**  
 コロナ禍において物価高騰に直面する市民の経済的負担を軽減するため、令和4年7月期から令和5年3月期までに係る水道基本料金の免除を行いました。(事業費6億5348万円)

**安城プレミアム商品券発行事業**  
 市制施行70周年記念事業として、飲食店や小売店等の事業者支援及び地域経済の活性化を図ることを目的として発行しました。(事業費2億8047万円)

**市営住宅建設事業**  
 老朽化が著しい井杭山住宅の建替のため建設工事を行いました。(事業費8億7723万円)

## 特別会計

特別会計とは、保険料や使用料等、事業内の独自の収入で運営している会計のことです。

会計名(事業)	歳入	歳出	差引
国民健康保険	151億1832万円	139億1468万円	12億364万円
土地取得	97万円	42万円	55万円
有料駐車場	5億4677万円	2億9117万円	2億5560万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	23億3467万円	21億4457万円	1億9010万円
介護保険	111億4315万円	105億4759万円	5億9556万円
後期高齢者医療	25億1606万円	25億669万円	937万円

特別会計は、  
いずれも  
黒字でした



## 公営企業会計

公営企業会計とは、地方公共団体が経営する企業の会計を指します。安城市では、水道事業、下水道事業が該当し、決算額は下表のとおりとなりました。

会計名	区分	決算額	主な内容
水道事業	収益的収入	34億5238万円	水道料金
	収益的支出	29億7985万円	県水受水費
	資本的収入	4億9489万円	工事負担金
	資本的支出	19億7949万円	建設改良費
下水道事業	収益的収入	30億4704万円	下水道使用料
	収益的支出	29億6137万円	維持管理費負担金
	資本的収入	15億468万円	一般会計出資金
	資本的支出	28億2252万円	建設改良費

## 資産

公有財産	
土地	269万6911㎡
建物(延べ面積)	55万2497㎡
有価証券	3270万円



## 令和5年度上半期・予算執行状況

### 一般会計<歳入>

款別	予算現額	収入済額	収入率
市税	395億4767万円	227億6230万円	57.6%
国庫支出金	102億7697万円	35億1453万円	34.2%
県支出金	51億1115万円	6億1130万円	12.0%
地方消費税 交付金	47億円	27億4482万円	58.4%
繰越金	32億7484万円	49億2158万円	150.3%
繰入金	32億4183万円	0円	0.0%
諸収入	28億4199万円	7億5963万円	26.7%
市債	20億2950万円	0円	0.0%
使用料及び 手数料	9億8490万円	5億1723万円	52.5%
その他	28億803万円	12億6063万円	44.9%
計	748億1688万円	370億9311万円	49.6%

### 一般会計<歳出>

款別	予算現額	支出済額	支出率
民生費	290億7288万円	115億367万円	39.6%
教育費	122億9298万円	47億9327万円	39.0%
土木費	102億1103万円	29億3483万円	28.7%
衛生費	80億9736万円	23億8119万円	29.4%
総務費	65億5886万円	25億6411万円	39.1%
公債費	30億5979万円	13億6615万円	44.6%
消防費	21億9236万円	9億3418万円	42.6%
農林水産業費	16億3269万円	6億8069万円	41.7%
商工費	10億7722万円	4億1913万円	38.9%
議会費	4億2586万円	2億2259万円	52.3%
労働費	8775万円	3915万円	44.6%
その他	1億810万円	0円	0.0%
計	748億1688万円	278億3896万円	37.2%

## 財政の現状とこれから

自治体の財政状況を判断する健全化判断比率の数値は良好であり、健全財政を維持しています。しかしながら、物価高騰や世界経済の先行き等、不透明な状況が続くことから、引き続き、歳入歳出両面から健全財政を堅持するための見直しを進めていきます。

### ●市の借金と貯金残高

	会計	金額	前年度比
市債残高 (市の借金)	一般会計	164億2331万円	-14億712万円
	特別会計	897万円	-3億7754万円
	企業会計	146億2900万円	-5億1510万円
基金残高 (市の貯金)	一般会計	283億7701万円	+28億6912万円
	特別会計	52億5136万円	+2億4718万円

財政力指数  
**1.25**

行政サービスにかかるお金を市税等で賄える割合(指数が1を超えるほど自主財源の割合が高い)

経常収支比率  
**80.4%**

(全国市町村平均92.2%)

借金返済等が市税等の定期的な収入に占める割合(比率が高いほど自由に使えるお金が少ない)

### ●健全化判断比率

指標	早期健全化基準	安城市
実質赤字比率(一般会計等の赤字の割合)	11.39%	赤字なし(-9.58%)
連結実質赤字比率(3会計を合わせた赤字の割合)	16.39%	赤字なし(-26.47%)
実質公債費比率(年間の借金返済額の割合)	25.0%	0.4%
将来負担比率(将来の負担となる借金の割合)	350.0%	-(-80.9%)

◀各指標が早期健全化基準を上回ると、財政健全化への取り組みが必要になります。

## 今後の取組み

### 事業の選択と集中

経常経費の節減、合理化・効率化に徹底に取り組みます。

### 自主財源の確保

市税等の収納率の向上を図るとともに、広告収入等の自主財源確保を進めます。

### 適切な資産管理・運用

公共施設等の資産の適切な維持保全と財政負担の軽減の両立を図ります。



### 特別会計

会計名(事業)	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	142億5000万円	62億3274万円	61億2196万円
土地取得	100万円	55万円	0円
有料駐車場	4億800万円	3億6655万円	2999万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	7億1600万円	3億5755万円	3億3174万円
介護保険	115億4100万円	48億8589万円	46億419万円
後期高齢者医療	27億円	9億7112万円	4億7302万円
計	296億1600万円	128億1440万円	115億6090万円

### 公営企業会計

会計名	区分	予算現額	執行済額
水道事業	収益的収入	32億6200万円	15億4869万円
	収益的支出	31億3500万円	7億9162万円
	資本的収入	5億1300万円	4301万円
	資本的支出	20億2300万円	3億7035万円
下水道事業	収益的収入	33億3300万円	15億9410万円
	収益的支出	32億700万円	6億1672万円
	資本的収入	21億1636万円	2億5215万円
	資本的支出	34億6700万円	7億9508万円

収益的収支：経営活動により発生する収入・支出  
資本的収支：施設を建設・整備するための収入・支出